慣用句(中級)プリント12

月　日　名前 _____

問1　「首をかしげる」の意味はどれですか？

1. 恥ずかしくて顔を伏せる　2. 疑問に思ったり、納得がいかなかったりする　3. 自分の失敗を反省して落ち込む　4. 相手の意見に賛成してうなずく

問2　「青写真」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 青写真を見ながら、空の雲の形を観察した。　2. カメラで青写真を撮って、空の青さを記録した。　3. 青写真を使って、画用紙を青色に塗りつぶした。　4. 将来の夢を実現するための青写真を頭の中で描く。

問3　「血も涙もない」の意味はどれですか？

1. 激しい怒りで理性を失っている状態　2. 非常に悲しいことがあって泣きはらす　3. 思いやりや情け心が全くなく冷酷である　4. 体調が悪く顔色がとても青ざめている

問4　新しい意見を聞き入れないなんて、（　）が固い人だ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 頭　2. 手　3. 耳　4. 口

問5　「腰が低い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腰が低い位置にあるので、かがんで作業する。　2. 彼は誰に対しても腰が低く、とても親切だ。　3. 背が低いので、腰が低いと言われた。　4. 腰が低い姿勢で、床を雑巾がけした。

問6　「手を染める」の意味はどれですか？

1. 手を使って何かを完成させる　2. 絵の具で手を汚してしまう　3. 自分の手で何かを終わらせる　4. ある物事に関わり始める

問7　（　）に火をともすような生活で貯金した。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 指　2. 腕　3. 爪　4. 足

問8　「目くじらを立てる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 弟の字のわずかなはみ出しに、目くじらを立てることはない。　2. ねむくなって、目くじらを立てながら本を読んだ。　3. うれしい知らせに、みんなで目くじらを立てて喜んだ。　4. 目くじらを立てて、夜空の星をじっと観察した。

問9　「胸を打つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 健康診断で医師が胸を打つ。　2. 困難に立ち向かう姿が人々の胸を打つ。　3. 転んで石に胸を打つ。　4. マラソンで走っている最中に胸を打つ。

問10　二人の作品はどちらも素晴らしく（　）つけがたい。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 左右　2. 大小　3. 上下　4. 甲乙

問11　「顔を潰す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 大勢の前で先生を批判し、顔を潰してしまった。　2. 転んで地面に顔を潰してしまい、痛かった。　3. 粘土で顔を潰して新しい形を作った。　4. 怒って顔を潰すような表情を浮かべた。

問12　「気骨がある」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 気骨があるからレントゲンを撮った。　2. 重い荷物を運ぶ気骨がある力持ちだ。　3. 彼は権力に屈しない気骨がある人物だ。　4. 気骨がある彼は毎日牛乳を飲んでいる。

問13　「胸に秘める」の意味はどれですか？

1. 心の中にしまっておいて、人には言わない　2. 胸の中に強い怒りや恨みを抱き続ける　3. 自分の気持ちを正直にすべて打ち明ける　4. 大切なものを胸のポケットに隠し持つ

問14　「枚挙にいとまがない」の意味はどれですか？

1. 順番を待つ時間がなくて、焦ってしまうこと　2. 物事の数が少なくて、すぐに数え終わること　3. 数えるための道具がなくて、困り果てること　4. 数が非常に多くて、いちいち数えきれないこと

問15　「横槍を入れる」の意味はどれですか？

1. 横から槍を投げて相手を攻撃しようとする　2. 他人の話や物事に、途中から口出しをして邪魔をする　3. 話し合いの途中で全く別の話題を持ち出す　4. 相手の意見に対して鋭い質問をして反論する

問16　「糸を引く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 糸を引くような長い道を歩いて帰った。　2. 針に糸を引いて、ボタンを縫い付けた。　3. 悪だくみの裏で、彼が糸を引いていた。　4. 凧の糸を引いて、空高く飛ばした。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント12　答え合わせ・解説

問1　答え 2　疑問に思ったり、納得がいかなかったりする
「首をかしげる」は「疑問に思ったり、納得がいかなかったりする」という意味です。

問2　答え 4　将来の夢を実現するための青写真を頭の中で描く。
「青写真」の正しい使い方は「将来の夢を実現するための青写真を頭の中で描く。」です。 意味は「将来の計画や見通し」です。

問3　答え 3　思いやりや情け心が全くなく冷酷である
「血も涙もない」は「思いやりや情け心が全くなく冷酷である」という意味です。

問4　答え 1　頭
「頭が固い」の「頭」の部分が入ります。 意味は「考えが凝り固まっていて、融通がきかない」です。

問5　答え 2　彼は誰に対しても腰が低く、とても親切だ。
「腰が低い」の正しい使い方は「彼は誰に対しても腰が低く、とても親切だ。」です。 意味は「相手に対して謙虚で、丁寧な態度をとる」です。

問6　答え 4　ある物事に関わり始める
「手を染める」は「ある物事に関わり始める」という意味です。

問7　答え 3　爪
「爪に火をともす」の「爪」の部分が入ります。 意味は「非常にけちで、苦労して節約する」です。

問8　答え 1　弟の字のわずかなはみ出しに、目くじらを立てることはない。
「目くじらを立てる」の正しい使い方は「弟の字のわずかなはみ出しに、目くじらを立てることはない。」です。 意味は「小さなことを取り上げて、きびしくとがめる」です。

問9　答え 2　困難に立ち向かう姿が人々の胸を打つ。
「胸を打つ」の正しい使い方は「困難に立ち向かう姿が人々の胸を打つ。」です。 意味は「感動させて心を強く揺さぶる」です。

問10　答え 4　甲乙
「甲乙つけがたい」の「甲乙」の部分が入ります。 意味は「どちらも優れていて優劣を決めにくい」です。

問11　答え 1　大勢の前で先生を批判し、顔を潰してしまった。
「顔を潰す」の正しい使い方は「大勢の前で先生を批判し、顔を潰してしまった。」です。 意味は「相手の面目を失わせるようなことをして恥をかかせる」です。

問12　答え 3　彼は権力に屈しない気骨がある人物だ。
「気骨がある」の正しい使い方は「彼は権力に屈しない気骨がある人物だ。」です。 意味は「自分の信念を曲げない強さがあること」です。

問13　答え 1　心の中にしまっておいて、人には言わない
「胸に秘める」は「心の中にしまっておいて、人には言わない」という意味です。

問14　答え 4　数が非常に多くて、いちいち数えきれないこと
「枚挙にいとまがない」は「数が非常に多くて、いちいち数えきれないこと」という意味です。

問15　答え 2　他人の話や物事に、途中から口出しをして邪魔をする
「横槍を入れる」は「他人の話や物事に、途中から口出しをして邪魔をする」という意味です。

問16　答え 3　悪だくみの裏で、彼が糸を引いていた。
「糸を引く」の正しい使い方は「悪だくみの裏で、彼が糸を引いていた。」です。 意味は「裏から人を操って物事を動かす」です。